

ごあいさつ

東は太平洋に面し、西は阿武隈山系が連なる山々、関根川と花貫川の清流は、肥沃な大地とともに、ふるさとの原風景を今に伝えています。また、先人から受け継がれてきた数々の地域資源は、今も時を超えて、いにしえの歴史を静かに語りかけてきます。

昭和29年11月23日に、高萩町、松岡町、高岡村の2町1村と黒前村及び櫛形村の一部が合併し高萩市が誕生しました。

市制施行70周年を迎えた今、恵まれた自然環境と歴史を活かした『市民主役のまちづくり』が進められています。

70年を振り返ると、林業、農業及び炭鉱を基盤として発展してまいりましたが、昭和40年代のエネルギー革命により、燃料の主流が石炭から石油等に転換されたことによる炭鉱の閉山をはじめとした、いくつかの困難な時代もありました。そのような中、工業団地の整備を進めるなど産業転換を図り、幾多の困難を乗り越え、継続して発展してきたことは、多くの先人の不断の努力と知恵によるものであります。

そして、その歴史の中に息づく思いを受け継ぎ、市民の皆さんと共に築き上げてきたのが今日の高萩市です。

この節目の年に市政を預かる私は、市民の目線に立って、真に必要な施策に取り組んで行かなければならないという強い想いがあります。

本市を取り巻く環境は、少子高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響による経済活動の停滞、就労形態の変化、人々の価値観の多様化など、大きく変化し続けています。社会の在り方や仕組みが移り変わる中で、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を基に、あらゆる課題に迅速かつ的確に対応し、誰もが住みやすい地域社会の実現を目指すことが、新たな時代への対応であると考えております。

今後もさまざまな視点から政策課題を克服するための取り組みを進め、安心して暮らすことのできるまちづくりを皆様方とともに推進し、未来を担う世代に持続可能な社会を引き継いでまいります。

この度、私たちの高萩市を知っていただくため、市制施行70周年記念・市勢要覧特別版を発行しました。多くの皆様にとって、高萩市の過去、現在、そして未来をご理解いただく一助となれば幸いです。

高萩市長 大部勝規

Contents

36	31	30	27	26	24	21	20	18	16	14	13	10	6	4	3	2		
市民の歌	市勢要覧資料編	市議会	『高萩市総合計画』	70年目のまちづくり	ふるさと納税	高萩ブランド	アウトドアフィールド	高萩マップ	歴史文化	自然景観	高萩大使	たかはぎ自慢短歌	70thお祝いスマイル&	市民栄誉賞	震災から復興へ	70年のあゆみ	市長あいさつ	市民憲章

高萩市市制施行70周年記念・市勢要覧特別版

Takahagi 70th

高萩市市民憲章

わたくしたちは、阿武隈の山なみを仰ぎ、太平洋の海ばらを望む自然に恵まれ、歴史と伝統に輝く高萩の市民です。

わたくしたちは、高萩市民であることに誇りをもち、先人のあゆみをうけつぎ若い力を伸ばしながら、住みよい、希望にみちたまちをつくるために、この憲章を定めます。

- 1 自然をたいせつにし、美しいまちをつくりましょう。
- 1 きまりを守り、明るいまちをつくりましょう。
- 1 礼儀を正しくし、うるおいのあるまちをつくりましょう。
- 1 元気で働き、豊かなまちをつくりましょう。
- 1 思いやりのある、あたたかいまちをつくりましょう。